

マレーシアの女性活動家が語る40年の軌跡

一草の根からの民主化をめざして

サラスワティ・ムトゥさん講演会

2011年12月13日(火) 17:30-19:30

東京外国語大学 研究講義棟2階 224教室



講演者:

サラスワティ・ムトゥ (Sarasvathy Muthu)

(社会活動家、マレーシア社会党副議長)

2011年「女性人権活動奨励賞(やより賞)」受賞者

ディスカッサント:

徳永理彩

(東京外国語大学非常勤講師・

オーストラリア国立大学

アジア太平洋カレッジ客員研究員)

サラスワティ・ムトゥさんのプロフィール:

労働、貧困、人権、女性、教育など多岐にわたる社会問題に長年にわたって取り組み続けてきたマレーシアの社会活動家。

17歳で Young Christian Workers (YCW) に参加して以来、Kalvi Kulu、Alaigal などのNGOの設立にも関わった。

マレーシア社会党 (PSM) の創設メンバーのひとりでもあり、現在、同党の副議長を務めている。

マレーシアにおける公正な選挙制度を求める運動 Bersih 2.0 にも関わり、本年7月9日のデモを呼びかけたことで、緊急条令により約1か月間の拘留を強いられた。

2011年に「女性人権活動奨励賞(やより賞)」を受賞。

共催:

東京外国語大学海外事情研究所

科研基盤研究A「ジェンダーを巡る<暴力>の諸相—

交差・複合差別における「家族親密圏」の学際的研究」

終了後、海外事情研究所にて
情報交換会開催!

問合せ先: 東京外国語大学 海外事情研究所 042-330 5405 ifa@tufs.ac.jp